

株式会社 中嶋精密製作所

大仙市戸地谷字川前285-1
Tel. 0187-62-1098 Fax. 0187-62-0098
E-mail : nakajima-seimitu@arrow.ocn.ne.jp

中嶋社長。秋田県ダクト工業会顧問、秋田県板金工業組合相談役など数々の役職を務めている。



熟練の技術と、最新設備を武器に



株式会社 中嶋精密製作所

各種鉄板、ステンレス、アルミなど
薄物から厚物まで幅広い素材に対応。
地道に、時に果敢に、歩みを重ねてきた。

設備投資に積極姿勢

「より早く、きれいに、安く」をモットーに掲げ、機械カバー、機械部品、トラック架装のパーツなどを製造している「中嶋精密製作所」。板金加工はもとより、プレス、絞り、溶接、切断、研磨、メッキ、塗装、レーザー加工など、多様な工程を自社で行い、お客様の要望にダイレクトかつ細やかに応えている。

当センターの設備貸与制度を活用し導入したのは、板厚0.3～19mmまで加工可能なレーザー加工機。

「精密さ、正確さ、スピードにおいて人は機械に敵わない。頼れるところは機械に頼って、プログラミングと最後の確認や仕上げは人の手で」と話す中嶋貞明社長。

昨年1月には曲げ加工を行うプレスブレーキ(高精度ベンダー機器)も導入。LED照明器具のカバーの

製作を始めた。

大正時代から続く老舗

同社の創業は大正14年。中嶋社長の父が今の大曲上大町で屋根工事業を始めた。「しかし、雪が降ると工事ができない。冬季は従業員を遊ばせる状態だった」と中嶋社長は振り返る。

自身は昭和29年、中学卒業を機に上京。東京都板金職業訓練校で学んだ後、都内の板金会社で腕を磨き、同42年に帰郷して家業を継いで、同44年に1級板金技能士の資格を取得。以後、冬季も安定した仕事を確保しようと空調設備工事に事業を拡大した。官公庁や飲食店関係の工事が増え、当時は同業も少なかったため、多忙な日々だった。

同54年には現在地に工場を構え、現在の主力分野である厚物精密板金に着手。平成元年に法人化した。

「安泰」より、課題を持って挑戦を

自らがこの道ひと筋62年の板金職人。「今日に至るまで道は平坦ではなかったが、“いざとなっても、自分には技術があるから大丈夫”と気持ちを奮い立たせて新規分野に挑戦し、設備投資を重ねてきた。仕事は、安泰と思えば気が抜けてしまう。多少困難があった方が、がむしゃらに頑張れる」。そう笑って話す様子に、ベテランの貫禄が漂う。

当センターとの付き合いは40年を超える。「設備貸与制度以外にも、販路拡大担当のイベントの常連です」。こうしたイベントや日ごろの営業活動で心掛けていることは「聞く耳を持って、人の話をよく聞くこと」だという。従業員は12人と専務。喜寿を超えた今も、職人たちを率いて挑戦を続けている。



A 高速加工、高精度加工が可能なレーザー加工機。導入したことで「作業効率が格段にアップした」と中嶋社長。

B 同社の製品。上は、排気用ダクトの排気口。下は、レーザー加工機で製造したオリジナルネームプレート。

事業概要 設備貸与制度

県内小規模企業者・中小企業者が導入を希望される機械設備を当センターが購入し、割賦販売またはリースする制度です。

お問い合わせ

あきた企業活性化センター 経営支援グループ
設備貸与・研究開発資金担当

TEL 018-860-5702